

# BUSINESS REPORT 2021

第42期 中間報告書  
2020.08.01 ▶ 2021.01.31

**samco**  
サムコ 株式会社

証券コード 6387

## 株主メモ

事業年度 每年8月1日から翌年7月31日まで  
定期株主総会 10月  
基準日 7月31日  
上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。  
配当金支払株主確定日 期末配当金 7月31日  
中間配当金 1月31日  
単元株式数 100株  
上場市場 東京証券取引所市場第一部  
公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.samco.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)  
※株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ (<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>) でも承っております。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ホームページのご紹介

最新のトピックスをはじめ、財務情報や会社情報を掲載しております。製品・アプリケーションの紹介や広報誌「samco NOW」など、掲載内容を充実させております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。

<https://www.samco.co.jp/>



トップページ

**samco**



令和3年4月  
左：代表取締役社長兼COO 川邊 史  
右：代表取締役会長兼CEO 辻 理

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社第42期中間期の報告書をお届けいたしますので、  
ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

### 第42期中間期の事業環境と経営成績

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいてスマートフォン向けや車載センサー用途などの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems =微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、その中から本格生産への移行が着実に進んでおります。また、新型コロナウイルス感染症の影

響により、一時的に減少したスマートフォンや自動車向けの半導体電子部品の需要が回復し、加えて5G（第5世代移動通信システム）の本格導入に向けた応用分野の広がりにより、半導体等電子部品製造装置の需要は拡大しております。

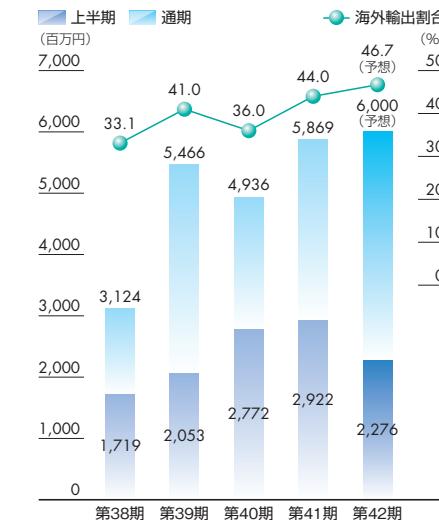
このような状況の下、当社ではオプトエレクトロニクス分野の通信用レーザー、電子部品分野の高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサー等向け製造装置等の販売推進に加え、新規事業（ヘルスケア事業）の創出に向けた技術開発への取り組みや、水蒸気を用いたプラズマ処理装置であるAqua Plasma（アクアプラズマ）洗浄装置の拡販による新たな事業領域の拡大に注力してまいりました。その結果、前事業年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に低調となった受注高は、当第2四半期累計期間には3,058百万円（前年同期比3.9%減）と前年並み水準に回復し、当第2四半期会計期間末の受注残高は2,316百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、前事業年度後半の受注減少を受け、売上高が2,276百万円（前年同期比22.1%減）、営業利益は252百万円（前年同期比45.2%減）、経常利益は262百万円（前年同期比44.3%減）、四半期純利益は191百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

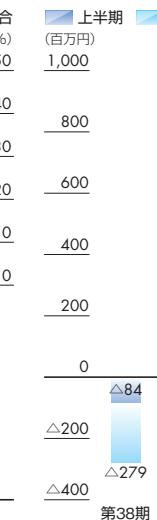
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。

なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申しあげます。

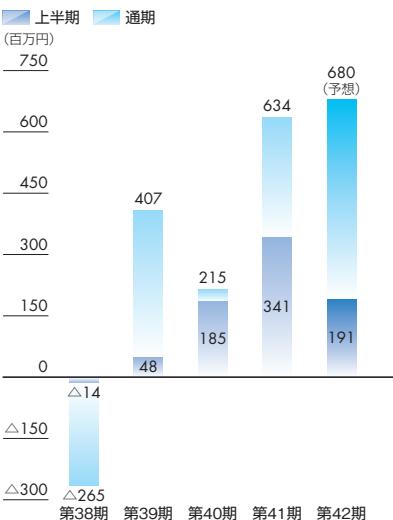
#### ■ 売上高・海外輸出割合



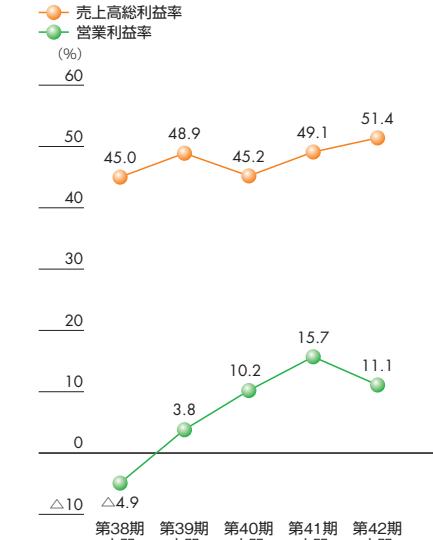
#### ■ 営業利益



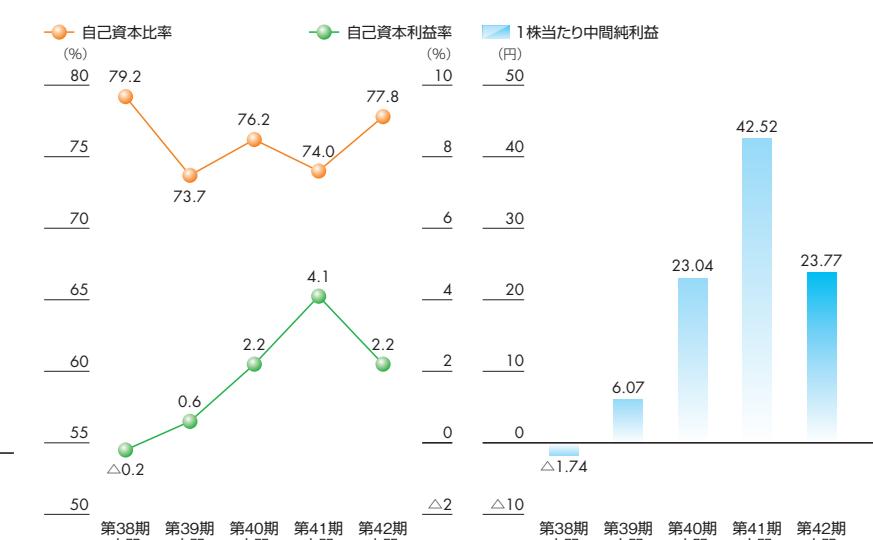
#### ■ 中間(当期)純利益



#### ■ 売上高総利益率・営業利益率



#### ■ 自己資本比率・自己資本利益率



## 品目別販売状況

## エッティング装置

売上高 1,127百万円 前年同期比 19.2%減

電子部品分野の高周波フィルタ向け、各種センサー向けの販売が好調であった一方、その他の用途全般では販売が振るわず、売上高は1,127百万円となりました。



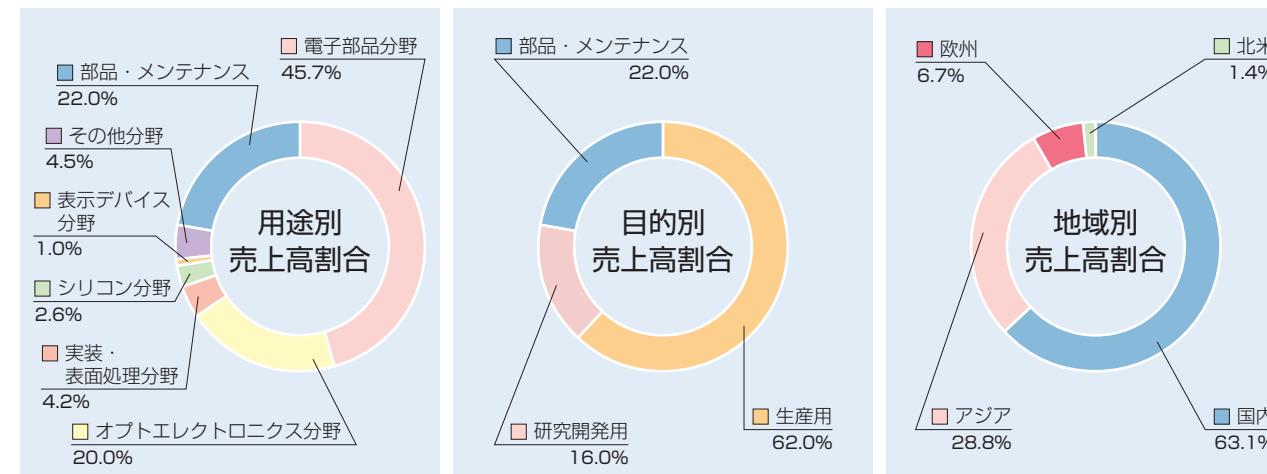
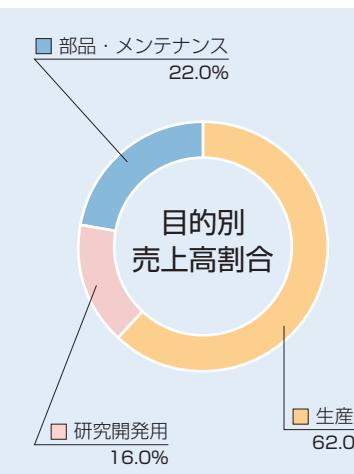
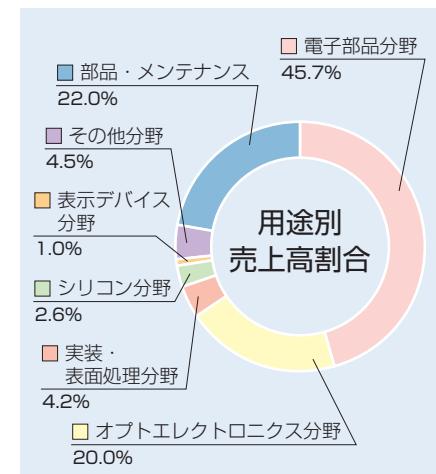
## CVD装置

売上高 296百万円 前年同期比 53.4%減

国内の電子部品分野のセンサー用途、海外のオプトエレクトロニクス分野の半導体レーザー（LD）でも販売があったものの、販売額としては振るわず、売上高は296百万円となりました。



## 売上高割合状況



## サムコの製品

## エッティング装置



ICPエッティング装置  
半導体基板上の薄膜を微細に加工する装置です。反応性の気体をプラズマ分解し、半導体基板の目的物と反応させて蝕刻していくものです。当社は複数の元素を材料にしている化合物ソースCVD<sup>®</sup> (Chemical Vapor Deposition=化学気相成長) 法に特長があり、比較的低温での高速成膜が可能です。

## 微細加工

## CVD装置



液体ソースCVD<sup>®</sup>装置  
半導体の加工を得意としており、次世代パワーデバイスの材料である窒化ガリウム（GaN）や炭化シリコン（SiC）などの加工が可能です。

## 薄膜形成

## 洗浄装置



液体を用いないドライ洗浄方式で、減圧下で反応性の気体をプラズマ放電させて半導体基板の表面を洗浄します。独自に開発したAqua Plasma<sup>®</sup>は銀や銅の表面還元や樹脂の接合など幅広い分野に応用されています。また、紫外線（UV）とオゾン（O<sub>3</sub>）を用いたUVオゾンクリーナーも取り揃えています。

## 洗浄・表面処理

## サムコの事業分野

## オプトエレクトロニクス分野

照明や光通信に使われるLEDやLDなどの発光デバイス

電気信号を光信号に変換したり、逆に光信号を電気信号に変換したりするデバイスで、主に化合物半導体で作られています。自動車のヘッドライトに用いられる高輝度LEDやLD、データセンターで用いられる近距離通信用のLDや光導波路などのデバイスがあります。



## 電子部品分野

IoT(Internet of Things)を支えるキーデバイス

各種センサー・MEMS（Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子）・高周波フィルタなどの分野です。スマートフォンに多数搭載される高周波フィルタは、IoT時代を迎えるための応用製品が飛躍的に増加しています。



## 実装・表面処理分野

電子機器の小型化、軽量化および高機能化を実現する重要なプロセス

パッケージ工程前のドライ洗浄分野です。最先端パッケージとして注目が高まるファンアウトウエーブルパッケージ（FOWLP）をはじめ、高機能な電子機器を製造するための信頼性の高い洗浄が要求されます。



## ○装置販売累計4,000台を達成

当社は、設立からのプラズマCVD装置やドライエッティング装置、ドライ洗浄装置などの製品販売累計4,000台を達成し、浜松光電株式会社様に記念すべき4,000台目のプラズマCVD装置を納入いたしました。

昨年11月12日、当社代表取締役社長の川邊 史が浜松光電様を訪問し、同社の鈴木正孝社長に謝意を申しあげ、記念品を進呈いたしました。浜松光電様は、磁気センサー、圧力センサーなどの多種多様なセンサーの製造・販売を手掛けるメーカーです。

静岡県磐田市の同社本社での記念品の進呈では、鈴木社長より「4,000台目の記念となる装置を納入いただき、ありがとうございます。改めて、しっかり取り組んでいかなくてはならないという想いになりました。製品精度をさらに上げていくために、引き続きご協力をいただければと思っております。今後とも宜しくお願ひいたします。」との言葉をいただきました。

## ○SEMICON Japan Virtual 2020 報告

世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会である『SEMICON Japan Virtual 2020』が、昨年12月14日から17日までの4日間、オンラインで開催されました。本年はウェブ上の特設サイトで展示会を実施する“バーチャル形式”が初めて導入されました。

本展示会では、小径ウエハ専用の省スペース生産用ICPエッティング装置『RIE-400iPC』、金属や誘電体などの難エッティング材料加工得意とする『RIE-800iPC』、ナノからマイクロレベルのSiNおよびSiO<sub>2</sub>薄膜を形成するプラズマCVD装置やALD装置、Aqua Plasma<sup>®</sup>クリーナー『AQ-500』を紹介し、多くの方々にご覧いただきました。

今後しばらくの間は、バーチャル形式での展示会が業界の主流となると見込んでおり、国内外の展示会に積極的に出展していく計画です。

## ○サンテレビの情報番組『アサスマ！』に出演

1月17日、サンテレビの情報番組『アサスマ！』の放送の中で、当社の会社紹介ムービーが放送されました。当社の歴史や会社紹介のほか、社員の働く姿にスポットを当てた内容となっております。

当社ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



社員の仕事風景を紹介



当社バーチャルブース



社長の川邊より記念品を進呈

## ■会社概要

商 号 サムコ株式会社  
 英文社名 SAMCO INC.  
 設 立 昭和54年（1979年）9月  
 事 業 内 容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸出入  
 資 本 金 1,663,687,288円  
 従 業 員 数 172名  
 本 社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地  
 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
 国 内 拠 点 本社（京都）、東日本営業部（東京）、  
 東海支店（愛知）、つくば営業所（茨城）、  
 福岡営業所（福岡）  
 海 外 拠 点 米国（カリフォルニア・ニュージャージー）、  
 台湾、シンガポール、中国（上海・北京）、韓国、  
 マレーシア  
 研 究 拠 点 本社研究開発センター（京都）、  
 オプトフィルムズ研究所（米国）

## ■役員

代表取締役会長兼CEO 川邊 史  
 代表取締役社長兼COO 川邊 史  
 取締役執行役員 山下 晴彦  
 宮本省三  
 佐藤清志  
 社外取締役 村上正紀  
 高須秀視  
 常勤監査役 辻村茂  
 常勤監査役 木村隆之  
 西尾方宏  
 常務執行役員 竹之内聰一郎  
 外山信一  
 執行役員 関仲修  
 ピーター・ウッド  
 本山慎一  
 松出和男

## ■株式の状況

発行可能株式総数 14,400,000株  
 発行済株式の総数 8,042,881株  
 株主数 7,608名

## ■大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
辻 理	982,507	12.2
サムコエンジニアリング(株)	920,282	11.4
財サムコ科学技術振興財団	800,000	9.9
(株)日本カストディ銀行(信託口)	338,600	4.2
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	227,800	2.8
辻 一美	201,465	2.5
辻 猛	183,615	2.3
サムコ従業員持株会	139,138	1.7
(株)三菱UFJ銀行	129,600	1.6
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC / FIM / LUXEMBOURG FUNDS / UCITS ASSETS	120,000	1.5

## ■所有者別株式分布状況

